



学びのページ

参加の心構え

いよいよ来月に迫った青年部三聖地巡拝錬成。ここで改めて、各聖地について、おさらいしておきましょう。

私たちの「生命」を司る大御親神を祀る伊勢神宮。建国の祖神を祀る橿原神宮。御歴代天皇がお鎮まりになる御寺泉涌寺。三聖地はまさに日本人の原点といえる場所です。

この三つの聖地に、日本人として日々生かされている「御礼」と、世のため人のためにお使いいただける立派な日本人となる「お誓い」をさせていただくのが「三聖地巡拝」であり、その意義は青年部三聖地巡拝錬成でも変わりません。三聖地で捧げる感謝に「国恩感謝」と書くのはそのためです。

巡拝錬成に参加するにあたり、ぜひ知っておいてほしいことは、皆さんは「代表参拝」だといふ

ことです。金剛さまは三聖地巡拝について「日本国民の代表であり、世界中の人々の代表である」といったお言葉を遺されています。もっと身近で言えば、皆さんは解脱会、支部、そしてわが家の代表です。送り出してくださる支部長さんや家族、教区や支部の皆さんなど、多くの方の思いを受けて参加させていただくのですから、出発前に氏神様への参拝はもちろん、自宅と支部の御神前・仏壇、親御さんや支部長さんに「行つてまいります」とご挨拶をしてから出させていただきます。また、無事に帰ったら、そのご報告もさせていただくのが礼節です。

もう一つ覚えておいてもらいたいのは、巡拝錬成はあくまでも「錬成行」であるということです。「錬成」とは、立派な心身を錬り鍛えるという意味です。

暑さに耐え、団体行動でハードな行程を乗り越えていく錬成行は、厳しいものかもしれません。しかし、どんなに辛い状況にあっても自分勝手な行動で周囲に迷惑をかけることなく、互いに思いやりの気持ちを持って行動することは、自立心や困難を乗り越えていく力を養います。

最後に、三聖地に赴く一番の醍醐味は、「聖地に浸る」ことです。各聖地の清らかな神気に浸り、心静かに参拝させていただく中で、自分が感じたことを大切にしたいです。そして巡拝錬成から帰った後、支部長さんや家族に感じた気持ち伝えてみましょう。ぜひ、皆さんの無形のお土産を持って帰ってきてください。

◎巡拝錬成の中で、自分が頑張りたいことや楽しみなことについて話し合ってみましょう。